



しいば 議会だより

第98号

令和2年4月

発行 宮崎県椎葉村議会
編集 議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字
下福良1762番地1
TEL(0982)67-3209
村内無料電話7-67-0091

7月オープンに向け整備が進む平寿園跡地拠点施設「カテリエ」の外観

3月定例会(2~4)

総括質疑(5)

一般質問(5~6)

議員活動報告(7)

議会の動き(8)

令和2年3月定例会

令和2年3月定例会が3月6日から13日まで開催され、報告案件1件、諮問1件、令和元年度補正予算、令和2年度当初予算や村道路線の認定、交流拠点施設設置条例の制定などの審議が行なわれ、提案どおり議決して閉会した。また、4名の議員（那須重美、河口吉弘、椎葉文典、尾前秀久）が一般質問を行った。

3月定例会で審議・議決したこと

議案番号	件 名	審議審査結果
報告第 6 号	専決処分について（令和元年度（平成30年度繰越）平寿園跡地拠点施設整備工事請負変更契約の締結について）	報告
議案第 1 号	椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求めることについて	可決（全員一致）
議案第 5 号	令和元年度椎葉村一般会計補正予算（第7号）	可決（全員一致）
議案第 6 号	令和元年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全員一致）
議案第 7 号	令和元年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全員一致）
議案第 8 号	令和元年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全員一致）
議案第 9 号	令和元年度椎葉村電気事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全員一致）
議案第10号	令和元年度椎葉村介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全員一致）
議案第11号	令和元年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	可決（全員一致）
議案第12号	令和元年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計補正予算（第4号）	可決（全員一致）
議案第13号	令和2年度椎葉村一般会計当初予算について	可決（全員一致）
議案第14号	令和2年度椎葉村国民健康保険特別会計当初予算について	可決（全員一致）
議案第15号	令和2年度椎葉村簡易水道事業特別会計当初予算について	可決（全員一致）
議案第16号	令和2年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計当初予算について	可決（全員一致）
議案第17号	令和2年度椎葉村電気事業特別会計当初予算について	可決（全員一致）
議案第18号	令和2年度椎葉村介護保険特別会計当初予算について	可決（全員一致）
議案第19号	令和2年度椎葉村後期高齢者医療特別会計当初予算について	可決（全員一致）
議案第20号	令和2年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計当初予算について	可決（全員一致）
議案第21号	椎葉村ひえつきの里キャンプ場の指定管理者の指定について	可決（全員一致）
議案第22号	椎葉村交通指導員設置条例の一部を改正する条例について	可決（全員一致）
議案第23号	椎葉村空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全員一致）
議案第24号	集会センター設置条例の一部を改正する条例について	可決（全員一致）
議案第25号	椎葉村営住宅設置条例の一部を改正する条例について	可決（全員一致）
議案第26号	村道路線の廃止について	可決（全員一致）
議案第27号	村道路線の認定について	可決（全員一致）
議案第28号	椎葉村交流拠点施設設置条例の制定について	
議案第29号	令和元年度椎葉村交流拠点施設設備備品（書籍）購入変更契約の締結について	可決（全員一致）
議案第30号	令和元年度椎葉村交流拠点施設設備備品（図書関係什器類）購入変更契約の締結について	可決（全員一致）
議案第31号	令和元年度椎葉村交流拠点施設設備品（電子機器類）購入変更契約の締結について	可決（全員一致）
議案第32号	椎葉村辺地総合整備計画策定について	可決（全員一致）
議案第33号	椎葉村農業用施設設置条例の一部を改正する条例について	可決（全員一致）
選挙第34号	椎葉村児童館及びへき地保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全員一致）
発議第35号	椎葉村立家庭的保育事業所等設置条例の一部を改正する条例について	可決（全員一致）

令和元年度補正予算(議案第5号～12号)

会計名称	補正前の額(千円)	補正額(千円)	補正後の額(千円)
一 般 会 計	5,576,952	105,906	5,682,858
国民健康保険特別会計	408,408	△ 1,138	407,270
国民健康保険病院事業特別会計	558,086	△ 26,100	531,986
電気事業特別会計	135,577	0	135,577
簡易水道事業特別会計	64,016	△ 901	63,115
介護保険特別会計	423,874	2,933	426,807
後期高齢者医療特別会計	86,416	△ 253	86,163
ケーブルネットワーク特別会計	75,103	1,086	76,189

(一般会計補正予算の主な内容)

○移住・定住促進住環境整備事業補助金	280万2千円追加	○商工業振興事業補助金	151万7千円減額
○尾向保育所(仮称)造成工事	1,021万3千円追加	○村単急傾斜事業補助金	179万9千円減額
○村国保病院運営負担金	1,300万円追加	○不土野小学校体育館改修設計委託料、工事請負費	3,704万7千円追加
○合併浄化槽整備事業関係補助金	53万2千円追加	○地方創生拠点施設整備(尾向地区)測量設計委託料	2,426万1千円追加
○向山日添地区簡易水道施設工事費	390万円減額	○ "	工事請負費 8,154万円追加
○プレミアム商品券発行事業(国補助事業関係)	1,725万円減額	○ 備品購入費	398万4千円追加

令和2年度当初予算(議案第13号～20号)

会計名称	当初予算の額(千円)	前年度の予算額(千円)	前年度との比較(千円)
一 般 会 計	5,100,000	5,623,000	△ 523,000
国民健康保険特別会計	358,338	363,933	△ 5,595
国民健康保険病院事業特別会計	554,430	560,627	△ 6,197
電気事業特別会計	139,237	135,005	4,232
簡易水道事業特別会計	62,710	58,832	3,878
介護保険特別会計	404,553	400,097	4,456
後期高齢者医療特別会計	88,712	88,107	605
ケーブルネットワーク特別会計	82,265	69,666	12,599

(一般会計当初予算の主な内容)

* 議会費		* 保健・衛生・福祉関係予算	
○議員報酬・議員期末手当	3,416万1千円	○社会福祉協議会運営補助金	2,930万円
* 総務一般管理費		○いきいきサロンや移送サービス事業など社会福祉協議会への業務委託料	1,381万1千円
○区運営補助金	92万円	○老人クラブ関係補助金	174万1千円
○開発センター指定管理委託料	450万円	○タクシー利用助成金	165万6千円
○土地・建物使用料	836万4千円	○ねたきり老人介護手当、介護用品購入助成事業	2,69万3千円
○松木集会センター解体工事	151万2千円	○障害者相談支援事業委託料(社会福祉協議会)	330万円
* 地域振興関係予算		○がん検診やインフルエンザ予防接種、各種検診委託料	2,727万1千円
○交流拠点施設管理に要する予算	5,085万7千円	○し尿処理運搬委託料や入郷地区衛生組合負担金など	3,197万6千円
○空き家サブリース(2戸)改修工事費	800万円	○ごみの運搬処理などに要する予算	3,583万3千円
○コミュニティ助成事業(大河内・不土野地区)備品等購入事業	500万円	* 農業振興・農地関係予算	
○地区計画支援事業(大河内・不土野・松尾地区)	82万9千円	○不土野浅敷地区ハウス団地舗装工事及びビニールハウス設置工事	2,932万8千円
○ふるさと納税運営事業(ふるさと納税に対する返礼品の手配・発想事業など)	2,697万円	○伝統農業(焼畑継承団体)活動補助金	60万円
○地域おこし協力隊起業補助金	200万円	○中山間地域等直接支払交付金(第5期対策)	2,915万4千円
* 総務課交通防犯対策関連			
○青色パトロールカーの更新(自動車購入)	265万円		
* 地籍調査測量設計業務委託料	1億3,833万6千円		
* バス運行委託料(宮崎交通・ひえつき交通・鶴富)	5,163万7千円		

- 立体園芸振興ハウス等設置補助金 629万5千円
- 農作業受委託組合補助金 315万円
- ほ場、農道整備や石垣整備、畦畔コンクリート整備事業補助金 449万9千円
- *畜産振興関係予算
 - 優良メス牛保留導入奨励事業補助金 1,480万5千円
 - 牛舎新築、改築及び堆肥舎整備事業補助金 930万4千円
 - 牛異常産3種混合ワクチン接種補助金 30万円
 - 和牛改良組合、ヘルパー協議会、受精卵移植推進協議会などの運営補助金 88万4千円
- *林業振興関係予算
 - 有害鳥獣捕獲対策事業補助金 3,501万7千円
 - 国土保全造林事業補助金(新植や下刈り施業に対する上乗せ補助金) 1,933万円
 - 椎茸再生計画支援及びしいたけ等特用林産物生産体制事業補助金 4,579万4千円
 - 間伐促進事業補助金 1,750万円
 - 林地残材抑制推進事業補助金 625万2千円
 - 森林経営管理道整備事業補助金 322万8千円
 - 特用林産物新規就業者支援事業交付金 225万円
- *建設課関係予算
 - 林道開設(小崎馬口岳線)外測量設計委託料 3,860万円
 - 林道開設改良工事費 5,640万円
 - 間柏原地区落石防止工事 1,486万3千円
 - 村道の安全施設整備工事費 1,000万円
 - 村道「若宮上線」ほか27路線の改良工事費 3億5,390万円
 - 松尾第2公営団地外装工事 2,000万円



- *商工観光予算
 - プレミアム商品券発行业業 743万7千円
 - 宿泊観光客増加促進事業や大阪アンテナショップ運営委託事業ほか観光振興事業委託料 847万6千円
 - 椎葉平家まつりやひえつき節日本一大会、各地区のまつり補助金 4,398万9千円
 - 矢立キャンプ場やひえつきの里キャンプ場などの指定管理委託料 416万6千円
- *消防防災関係予算
 - 地域防災計画見直し業務委託量 400万円
 - 各部運営補助金及びラッパ隊運営補助金 110万円
 - 地区屋外防災スピーカー設置設計委託料及び設置工事費 4,180万円
 - 村立病院救急搬送車購入費 2,808万8千円
- *教育関係予算
 - 高校生生活支援事業補助金(高校生等に対する月額2万円の支援金) 1,560万円
 - 奨学資金貸付金(高校・短大・大学・専門学校など) 2,538万円
 - 松尾小学校プールフェンス改修工事 423万3千円
 - 中学校寄宿舎食堂空調工事 94万2千円
 - 青年団、婦人連絡協議会、PTA、子ども会育成会などの運営費補助金 224万7千円
 - 国民文化祭実行委員会補助金 252万1千円
 - 尾向地区拠点施設整備(地区公民館)測量設計委託料 1,785万7千円
 - 地区公民館・自治公民館運営補助金 224万円
 - アジア友好の翼実行委員会補助金 515万円
 - 世界農業遺産ブース製作委託(民俗芸能博物館) 242万円
 - 国指定の神楽や村指定の臼太鼓、山法師踊りなどの保存継承に関する補助金 1,210万円
- *災害復旧関係
 - 林道施設災害復旧費(測量工事費) 2億2,722万円

○諮問第1号「椎葉村人権擁護員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」は、令和2年6月30日に任期満了となる甲斐ミハル氏について、人権擁護員法の規定により、議会の意見を求めるもの。村長諮問のとおり同氏の任期を令和2年7月1日から令和5年6月30日とする推薦に同意。

○議案第21号「椎葉村ひえつきの里キャンプ場の指定管理者の指定について」は、次の提案のとおり議決した。

1. 管理を行なわせる公の施設の名称 椎葉村ひえつきの里キャンプ場
2. 指定管理者となる団体の名称 一般社団法人「逞しい未来」(代表 村上健太)
3. 指定管理の機関 令和2年4月1日から令和6年3月31日(4年間)

○議案第28号「椎葉村交流拠点施設設置条例の制定について」は、椎葉村大字下福良1829-57に設置した。椎葉村交流拠点施設の設置に関する事項を定めた条例。条例では、休館日を毎週水曜日と12月29日から翌年1月3日までを年末年始期間と定め、使用時間を日曜、月曜及び火曜日は午前9時から午後5時まで、木曜、金曜及び土曜日は午前9時から午後9時までとしている。なお、使用料については6月定例会に条例提案を行なうことになる。



拠点施設カテリエの内観

備品購入変更契約の締結について

1. 椎葉村交流拠点施設備品(書籍)購入変更契約

契約金額 変更前 15,950,000円 変更後 19,700,581円(3,750,581円増額)
 変更理由 魅力的な図書館とするため独自分類による本の配架を進めており、その分類にふさわしい選書について再検討を行ったため。

2. 椎葉村交流拠点施設備品(図書館系什器類)購入変更契約

契約金額 変更前 43,769,000円 変更後 49,107,939円(5,338,939円増額)
 変更理由 書架において村産材を利用した板材を追加したため。

3. 椎葉村交流拠点施設備品(電子機器類)購入変更契約

契約金額 変更前 27,001,568円 変更後 26,946,568円(55,000円減額)
 変更理由 プロジェクターを壁面取り付けから吊り下げにすることと、スクリーンについては移設再利用を予定していたが移設費用や移動等のリスクを考慮し、壁面に直接設置することにしたため。

総括質疑



河口吉弘 議員

質問 1

適正な予算執行について

問

予算は村民生活と密接につながっており、その執行にあたっては計画的かつ効率的執行に努めるべきである。道路整備等の公共事業については、早期発注、早期完成により一日も早い村民生活の環境整備に努めるべきと思うが、村長の認識は。

事務事業の適正な進捗管理を行なうなど、予算が村民生活と密接不可分であることを再認識し、予算執行の適正化を図るべきと思うが、見解を尋ねる。

答 予算は村民の幸せのためにある。その執行にあたっては真摯に応えていかなければならない。執行にあたっては四半期ごとの進捗状況管理するシステムを強固なものにし、適正な予算執行にあたっていく。

質問 2

交流拠点施設管理運営予算について

問

令和2年度の交流拠点施設に関する予算総額は508万5千7百円と説明したが、提出された予算書では把握することができない。拠点施設の管理運営に関する新たな予算項目を設け、予算の「見える化」を図るべきだ。

答 当初予算書を作成する段階ではできなかった。早い時期に企画費から分離した形で編成を行い、わかるよう

にしたい。

質問 3

遊休公共建築物の有効活用について

問

旧宮崎銀行椎葉支店の建物や休館中の小崎児童館、閉校する小崎小学校など、遊休公共施設の有効活用策の検討が必要である。

有効活用策の検討に当たっては、村の課題解決に資するため、役場ワンチームによる取り組みが必要であると思うが、村長の見解を求める。

答

施設整備により遊休公共施設が発生する。小崎小学校の活用については、地元と十分協議していきたい。空き公共施設についても協議を重ねながら進めていきたい。

質問 4

職員の処遇改善について

問

県は平成31年度市町村職員の給与実態調査結果を発表、県内17町村の平均ラスパイレス指数は96.3としている。それによると諸塚村が91.7、西米良村が91.5、そして椎葉村は91.0となっており、県内17町村の中で最下位である。職員給与改善の必要性をどのように認識しているかを尋ねる。

答

組合と十分話し合いながら進め、決定していきたい。

村長に聞く! ～ 一般質問 ～



那須重美 議員

質問

分収造林の認識について

問1

先の分収造林の認識についての答弁において契約終了林分について、契約者と協議して、順次解決していく。又、不在林分等についても毎木調査と並行して実施する。さらには、収穫事務の作業について、随時収穫調査を実施していく。との答弁であった。又、鳥獣被害については、現状にあった対策を講じていくとの答弁でもあったが、次の3点について見解を求める。

1点 分収契約地及び、契約終了林分の件数、面積は？
2点 契約終了林分の進捗状況は？
3点 分収造林の認識、機能・役割をどのように考えているのか？

答1 契約面積は、119件で、面積1036ha、契約終了林分は、19件で、面積299ha、進捗状況については、地権者と協議しながら契約延長並びに収穫を踏まえた作業の実施をおこなっている。官民あげての事業で、水源涵養や国土保全の観点から公益性の高い事業であると認識している。契約終了林分については、H28年以降、不落不調が続いており処理が滞っている。

問2 平成27年においては、契約終了林分16件、237haであり、今後益々増えていくと思われる。木材価格の不

調、入札の不落等の原因について究明する必要がある。契約終了林分について、どのように対処するものか、契約者に対してどのように説明し理解してもらっているのか見解をもとめる。

答2

村独自での原因究明は非常に厳しい状況である。一町村としてどう解消していくかというのは難しい問題であり、一日も早く収穫をし分収契約者との契約を履行したい。

これから努力して対処していきたい。

問3

森林環境譲与税の導入により用途を検討し、技術者の育成、収穫林分調査見積価格の調査、研究や作業班の育成強化を図るべきである。又、分収造林管理台帳の見直しにより収穫計画書を作成するべし。契約終了林分については、機能を満たしていない林分の対応等の記述も必要である。19件の契約終了林分について、いつまでにどう対処するものか見解を求める

答3

いつまでとは確約はできないが、真剣に担当の方で努力しながら、森林組合、県とも協議しながら調査を進め努力していく。





河口吉弘 議員

質問 令和2年度「村づくり事業」の取り組みについて

問1 昨年9月定例会の「移住・定住と空き家対策」の質問の対して、村長は「重要な問題であり年内に計画を立てたい」とのことであったが、どうなっているか。

答1 5年間で31人が移住、その内21名が定住している。Uターン者が少なく厳しい状況にある。「第2期総合戦略」では移住者50名を目標にしている。空き家対策は村家主から無償で借上げ、改修して貸し出す新たな事業に取り組む。

再質問 村内各産業において後継者不在や人手不足により、事業継承が困難となってきた。移住希望者を増やすことと同様に、村内産業の後継者確保策を講じる必要があると思うが。

再答1 後継者、商工業を対象にした移住・定住促進住環境整備事業補助金や産業振興補助金、商工業振興補助金、観光客増加促進事業補助金、移住支援交付金事業など、取り組みを進めている。

問2 「村有林等の公有林の計画的収穫による財源の確保と林業従事者の雇用の場として活用すべき」との質問に、村長は「いい提案、年度内に計画を立て、示したい」と答弁、計画はできあがっているのか。



葛谷村有林

答2 造林資金として借り入れた資金を低金利にする「公有林施業転換資金」への借り換えを行なったため、償還終了林分を把握する作業に時間を要する。収穫可能な山林について具体的な取り組みを図りたい。

問3 「ふるさと納税」の見える化を図り、納税者に広くアピールすべきと質問。令和2年度事業に充当できる仕組みづくりを検討中とのことであったが検討状況は。

答3 寄付金の使い道を特化する「ふるさと納税型クラウドファンディング」は、令和2年度から事業展開を進める。

問4 昨年12月定例会で「後継者の高額な住宅使用料に対して、住宅補助金制度を設け、後継者の定住促進を図るべき」と質問、「法律に抵触しないか検討したい」と答弁したが、どのように検討されたか尋ねる。

答4 住宅補助金制度について専門家に見解を求めたところ、①一部の住民に対する補助金となることから不公平。②公営住宅使用料は民間住宅と比較して安価に入居できる。③補助金額を収入とみなし、そのことにより家賃が高くなる。よって、住民訴訟が起こされた場合は敗訴することから住宅補助金制度は講じることはできない。

再質問 専門家の見解は乱暴、補助金を出さないための見解であると受け止めざるを得ない。政策的目的で出す補助金を収入として認定して課税した例があるのか尋ねる。

再答1 専門家の見解は、乱暴だなどというふうに私も思ったところである。時間をもらって研究させていただきたい。



尾平公営住宅



椎葉文典 議員

質問 高齢者や障がい者への買い物支援について

問1 買い物支援については、地域づくり懇談会等で質問されているが、人口減少による流出や交通網の弱体化で、食料品等日常生活に必要な買い物が増える。団塊の世代が後期高齢者となり、一段と買い物等に支障をきたすことになる。高齢者や障がい者の方が、せめて食料品や日用品の生活必需品について1週間に一度、それぞれの地域で買い物できるような支援はできないものか答弁を求める。

答1 本村は高齢化が進み、商店が減少するなど買い物弱者が増加しており、日常生活への影響が危惧されている。支援するうえで必要なのは移動手段であるが、村営バスは全

地区を対象に運行しているし、一定の要件を満たす高齢者等にはタクシー利用を設けている。更に村内の5地区に集落支援員を配置している。また、商業振興を目的とするプレミアム商品券発行事業にも取り組んでいるので、地域で買い物が活発化されるよう推進していきたい。

問2 買い物支援は、全国各地で実施されている。買い物支援のメリットは、生活用品の供給や栄養管理、健康状態や安否確認の必要性がある。高齢者等を対象とした買い物支援について「中山間地買い物支援事業費補助金」等補助制度を検討していただくをお願いしたい。

答2 高齢者や障がい者に対して買い物支援を充実させるとともに、商店の存続と活性化に万全を尽くし消費喚起をお願いしたい。



尾前秀久 議員

質問 これから先、椎葉村の商工、観光業に対してどのように取り組んで行くのかについて

問1 椎葉村に通じる国道の整備が進んでいる。近い将来竣工するとして、観光客の増加が見込まれるが素通りの観光でなく、滞在型に向けた取り組みに、今こそ着手していかなければならないと考えるがどのような考え方をしているのか伺いたい。

答1 観光振興を図るうえで、クオリティの高さと清潔感が求められている。又後継者問題、事業継承問題等、将来の方向性の選択に当たり、苦慮している経営者も多いと認識している。ビジネスとして成功し活性化するためには、商工会、観光協会との連携が必要、意向を確認し課題解決に向けた取り組みを

行う。又[椎葉村]では[活用]し現状と将来を見据えた、制度設計の変更も併せて行っていかなければならない。

問2 滞在型の取り組みとして、体験施設の必要を考え以下2点について伺いたい。

①ダム湖に浮桟橋の設置、キャンプ場との連携と浮桟橋を利用した貸ボート等の施設。

②空家などを活かした古民家を、椎葉の中心街に移築し[椎葉村]を体験できる施設を。

答2 ダム湖利用に際しては、様々な問題がある。古民家にしても費用対効果等検討する必要がある。

問3 人口減少問題は必須の課題である。大胆な政策を展開していくことこそ減少の抑止に繋がるものと考え。

答3 ダム湖利用については、再度九電と協議していく。又地域を活かしながらの体験施設等かなりの費用を要するが、将来を見つめる時真剣に検討を進めてまいりたい。

議員活動報告

子牛初セリ市を視察

1月24日にかけて、延岡家畜市場において子牛セリ市を視察した。雌152頭、去勢159頭の牛が分刻みで競られた。村内からは雌57頭、去勢45頭が出場。市場の大きな牛舎に出番を待っている牛たちに、或るものは夫婦で又或るものは親子で夫々に、280日から300日に渡り1日も欠かすことなく育てた牛に寄り添い、最後の磨きをかけていた。1年近く手を入れてきたその思い、歌手の[春日八郎]の歌の歌詞の中に買われていく牛馬に、「達者でな、風邪ひくな」というくだりがある。おそらくそんな気持ちで撫でているように思えた。少しでも高値がつくことを願った。しかし、平均で7万—5万程前回より低かった。市場の予想では今後も少し下るのではとの見解がある。生き物を育てるということは決して楽なものではなく、その苦労が報われるよう議会も寄り添い、市場価格の上昇を期待したい。



セリ市の様子

県森林林業活性化議員連盟研修会

1月28日

「林業の成長産業化と森林の適切な経営管理の実現のための林業イノベーションの推進」をテーマに宮崎市で開催された。本県は、森林資源の多くが主伐期を迎え、林道や林業機械、木材加工施設等の整備を背景に代表する国産材供給基地となつている。住宅建築等への国産材利用の高まりや、木質バイオマス発電施設の順調な稼働等により、皆伐主体の素材生産が増加傾向にあり、資源循環型林業の確立が急がれるとのこと。

今後は森林GISやレーザー測量等林業におけるICTの活用により、林業経営計画等への活用が鍵となる。新たな森林経営管理制度による森林環境譲与税の県・市町村への譲与の開始など、日本の林業成長産業化に変革が来ているとの見解を聞き改めて山村地域林業の活性化を考える内容の講演会であった。



講演中の宮崎大学農学部 櫻井准教授

宮崎町村議会議員研修会

1月30日

門川町で県内町村議員が一堂に会し研修会が開催された。これまでの研修会の在り方を変えて、県内の議会議員による議会報告の発表となった。今回は3町の議会、三股町の「意見交換会・語っちみろかい」、高千穂町の「天孫降臨の地で生きる」、門川町の「門川議会の活動」と題し、代表された各議員による発表であった。各議会の活動概要・特徴など現場の声が伝わり、本村議会がこれから取り組もうとする、議会改革議会報告会の在り方、今後の課題等について勉強になった。



日向市・東臼杵郡町村議会議員研修会に参加

2月4日、日向市・東臼杵郡町村議会議員研修会が日向市役所で行なわれた。講師に三重県地方自治研究センター高沖秀宣氏に迎え、「議会・議員の在り方と議会機能の強化」を演題に研修が行なわれた。

研修会は日向市、高鍋町の「議会基本条例」を例に、議会・議員の在り方、議会改革とは議会の何を改革することか、議会の役割とは何か、議員の資質向上と議会力強化などの重要性について研修が行なわれた。

村議会としても、改めて議員力の向上と議会力の強化を図るため、「議会基本条例」の必要性とその制定に向け具体的に取り組む必要があると認識させられた有意義な研修会となった。



講師の高沖氏

椎葉小学校・椎葉中学校所管事務調査を実施 小・中学校空調設備整備事業

2月20日、猛暑対策として実施された国の学校施設改善交付金による村内小・中学校教室の空調設備整備状況調査を椎葉小学校・椎葉中学校において行なった。

事業は椎葉小学校でエアコン11基、事業費1473万8千円、中学校は9基、1736万1千円をかけて整備、昨年2学期から「エアコン運用ガイドライン」に基づいて共用が始まり、快適な環境の下で学習が行なわれていると喜ばれていた。



椎葉小学校での調査の様子

村道認定調査を実施

2月20日、村道認定予定箇所の現地調査を実施した。路線は、尾向地区尾前の今村1号線と松尾地区水越の五百地線の廃止、尾前小原線、五百地線、五百地上線の新規の路線数としては3路線の現地調査を行い建設課より説明を受けた。調査した結果、委員会としては、村道認定及び廃止は適当であるとの意見で一致した。



村道五百地線の起点

議会の動き

1月	21日	県道上椎葉湯前線整備促進協議会要望活動	日向市・宮崎市
	21~22日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会提言活動	福岡市・東京都
	24日	子牛初セリ市視察及び宮日支局、夕刊支社訪問	延岡市・日向市
	27~28日	例月監査	監査室
	28日	宮崎県森林・林業活性化議員連盟連絡会議研修会	宮崎市
	29日	国道503号シンポジウム	諸塚村
	30日	県町村議会議長会議員研修会	門川町
2月	4日	日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会研修会	日向市
		議会運営委員会	委員会室
	6日	全員協議会	委員会室
		第1回村議会臨時会	議場
	13日	県町村監査委員協議会定期総会	宮崎市
	16日	村生涯学習フェスティバル	開発センター
	17日	日向東臼杵広域連合議会運営委員会	日向市
	18日	三村協議会役員会	宮崎市
		県町村議長会定期総会・研修会	宮崎市
	20日	産業福祉常任委員会村道認定調査	村内
		総務文教常任委員会学校空調設備現地調査	村内
	21日	光ファイバーネットワーク運営委員会・放送番組審議会	役場会議室
	25~26日	例月監査	監査室
	26日	村園芸部会定例総会	開発センター
		議会運営委員会	委員会室
		全員協議会	委員会室
		議会改革特別委員会	委員会室
	28日	入郷地区衛生組合議会	美郷町
		日向東臼杵広域連合2月議会	日向市

3月	2日	椎葉村総合戦略会議	役場会議室
		村社会福祉協議会理事会	すこやか館
	6~13日	村議会3月定例会	議場
	11日	総務文教常任委員会	委員会室
		産業福祉常任委員会	委員会室
		議会広報広聴特別委員会	委員会室
4月	24日	県北部広域行政事務組合議会	日向市
	26~27日	例月監査	監査室
	1日	村職員辞令交付式	役場会議室
	6日	交通安全街頭キャンペーン	平家本陣

椎葉村議会 テレビ生中継

6月定例会は6月10日開会予定となっています。

お問い合わせは議会事務局まで
(TEL 0982-67-3209)

是非傍聴にお越しください。

編集後記

コロナウイルスの発生から、約2ヶ月がたち世界中の国々に広がり日本でも今までにない深刻な問題として大きな影響を及ぼしています。口蹄疫・鳥インフルエンザ・豚コレラ・今回のコロナと全てのものが目に見えない敵でありいつ終息するのか先の見えない状況であり年度末でもある中、全ての行事等が中止せざるを得ない状態にあります。特に子供達には休校中での卒業式を迎える事となり複雑な心境の中での進級を迎えます。

現在の厳しい状況の中議会としても行政と一致協力して色々な問題解決等に取り組んで参りたいと思います。現状に終止符を打つためには村民の皆様方の助け合い「かて〜り」の精神でと切に思います。村民の皆様の要望、ご意見等をお待ちしております。

(文責:椎葉 一)